



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合
発責 情報宣伝部
2024年11月5日 No.809

第2四半期決算 社員の奮闘で「増収増益」を実現！

年末手当
Part ⑥

- ・会社の収益はコロナ前に戻っているのに、家計の収益はマイナスのままです。正直、年末手当は「4ヶ月」くらいは必要です！（上信越）
- ・会社は儲けているのに「先行き不透明」を繰り返し、出し渋りしてきました。お盆輸送も絶好調で物価高に賃金も追いついていません。これで年末手当が抑え込まれたらモチベーションが上がるわけがありません！（関東）
- ・色々な会議で「会社の業績は良い」と聞きます。だったら業績が良い分を反映し、年末手当は過去最高を出すべきです！物価がどんどん上がっている中、生活費をボーナスから補填しないと厳しいです。本当に社員の生活は切実です！（上信越）
- ・今年はインバウンドを含むお客さまのご利用もコロナ前に戻ってきており、かなり忙しくなっています。会社は頑張っている社員に対して期末手当で応えるべきです！（東北）
- ・夏季手当2.7ヶ月は本当に低過ぎです！「早く決めるために支給額を抑えるのはおかしい！」とみんな思っています。会社の利益はちゃんと出ているので、会社は「社員の生活設計」というならば、年末手当はその分を社員に還元するべきです！（上信越）
- ・収益が順調に推移しているのは社員が日々努力しているからこそです！物価上昇での生活苦や金利上昇による住宅ローンの返済が苦しくなっています。社員の努力に見合う期末手当の支給が必要です！（関東）

東日本ユニオン NEWS 2024年10月31日 №806

4期連続 JR東日本 2025年3月期 第2四半期決算発表

増収増益

【第2四半期決算 単位】	（単位：億円）		対前年比	
	2023年9月	2024年9月	増減	%
営業収益	9,573	10,261	+687	107.2
営業利益	1,550	1,960	+409	126.4
経常利益	1,303	1,775	+472	136.2
中間純利益	936	1,258	+322	134.5

第2四半期における営業収益は
6年連続して期末手当を年間6.0ヶ月以上
勝ち取った時代と同水準！

3.8ヶ月要求の支払い体力は十分ある！
全社員の本音を経営側にぶつけよう！
第1回交渉 11月1日（金）
JR労働者の団結で正当な成果配分を勝ち取ろう！

- ・会社の業績が良いのは社員の努力や苦勞した結果です！年末手当で社員に還元するべきです！（上信越）
- ・夏季手当は期末決算を見ずに2.7ヶ月と決まりました。第2四半期決算が出ましたが「増収増益」です！決算が好調なので社員の努力に応じて還元するべきです！（上信越）
- ・コロナ以前の好調な業績でも会社は出ませんでした。世間動向に合わせるのではなく「JR東日本は出します！」が必要ではないですか。世間からあえて突出することで「社員のやる気」や「企業の魅力」が上がると思います！（上信越）
- ・会社は儲かっています！会社だけが蓄えることができず社員が蓄えることができていません！会社は成果を社員に還元し、もっと社員を大切にすべきです！（上信越）

会社の独り占めは認められない！ 年末手当3.8ヶ月の要求を勝ち取ろう！

